

# 続 商標類否叢集

クラウド版 マニュアル



# 目次

A. レイアウトの説明 .....	P1
1. はじめに	
2. 各データの内容について	
3. ボタンの説明	
B. 検索方法 .....	P5

## A. レイアウトの説明

### 1. はじめに

本データベースは「帳票形式」で作成されています。

最初に開くのは「一覧閲覧」画面です。1データ1行の形で表示されています。  
本データベースでは、この1データを「1レコード」と表示することがあります。  
レイアウトとしては、他に

- ・「個別閲覧」 → 1データ1画面の形で表示されています。
- ・「一覧検索」 → 検索画面です。検索結果は「一覧閲覧」の形で表示されます。
- ・「個別検索」 → 検索画面です。検索結果は「個別閲覧」の形で表示されます。
- ・「印刷レイアウト」 → 【類否1】のファイルには「1音」、「2音」「図形外観」の3つのレイアウトがあります。  
【類否2】のファイルには「読み・A+B・商号」、「普通～接尾」「暖簾・図称」の3つのレイアウトがあります。

画面上部のボタンから移動する形式を採っています。

### 2. 各データの内容について

「一覧閲覧」画面を例として、説明していきます。

#### ①「チェック」欄

お客様がデータを検索後、必要な審決を抽出するときに使用します。

**チェック絞込** ボタンを押すと、チェックを付けた審決のみ表示されます。

この状態を解除する場合は、 **チェック解除** のボタンを押してください。

#### ②「※」欄

対比する商標が非類似である場合には※印を付しています。

#### ③「項目」欄

審決の内容から各項目に分類しています。

##### 【類否1】

「1音」 = 一音のみ相違する称呼類否

「2音」＝ 二音以上相違する称呼類否

「観念」＝ 観念類否

「図外」＝ 図形商標の外観類否

#### 【類否2】

「読み」＝ 文字商標の称呼の特定

「漢字」＝ 漢字よりなる商標の称呼の特定

「欧字」＝ 欧文字よりなる商標の称呼の特定

「振仮」＝ 振り仮名が付された商標の称呼の特定

「A+B」＝ 自他商品識別力が対等な二語以上の結合

「普通」＝ 普通名称との結合

「品質」＝ 品質・原材料・形状表示用語との結合

「品位」＝ 品位・誇称表示用語との結合

「産地」＝ 産地・販売地表示用語との結合

「色彩」＝ 色彩表示用語との結合

「記号」＝ 数量・記号表示用語との結合

「接頭」＝ 接頭語句との結合

「接尾」＝ 接尾語句との結合

「暖簾」＝ 暖簾記号商標の称呼・観念

「商号」＝ 商号・屋号商標の称呼・観念

「図称」＝ 図形商標の称呼・観念

なお、「普通」「品質」の項目は、審決における商品・役務の内容により

I群＝ 化学部門（国際分類第1～5類、日本分類第1～5類）

II群＝ 機械部門（国際分類第6～13類、日本分類第6～13・34類）

III群＝ 繊維部門（国際分類第22～27類、日本分類第14～17類）

IV群＝ 雑貨部門（国際分類第14～21・28・34類、日本分類第18～27類）

V群＝ 食品部門（国際分類第29～33類、日本分類第28～33類）

VI群＝ 役務部門（国際分類第35～45類）

に分類しています。

#### ④「細目」欄

「項目」によっては、さらに細目を設けています。

#### 【類否1】

項目「1音」に細目「ア行、カ行、サ行、タ行、ナ行、ハ行、マ行、ヤ行、ラ行、ワ行、促音、長音」

項目「図外」に細目「幾何、植物、動物、器物、人物、天体、文字」

## 【類否2】

項目「図称」に細目「文字、図文、図形、多段、図案、要部、一体、分断」が付されています。

- ⑤「音A」「音B」「音数」「位置」欄 → 【類否1】「項目」が「1音」相違の場合のみ使用します。

「音A」 → 商標Aにおける相違音を示します。

「音B」 → 商標Bにおける相違音を示します。

「音数」 → 商標Aと商標Bの音数を示します。どちらも4音ずつであれば、「4」、商標Aが4音、商標Bが5音であれば、「4. 5」と表示されます。

「位置」 → 相違音の位置を示します。「語頭、中間、語尾」の3種類に分かれます。

- ⑥「対象部分」欄 → 【類否2】「項目」が「普通、品質、品位、産地、色彩、記号、接頭、接尾」の場合に使用します。  
商標Aと商標Bの類否判断を行う際、自他商品役務識別力を有するか否かが問題となった部分を指します。

- ⑦「商標A」「商標B」欄

「商標A」 → 審決における本登録商標・本願商標を指します。

「商標B」 → 引用商標を指します。

- ⑧「類」欄

数字の前にあるアルファベットはそれぞれ

K = 国際分類

N = 日本分類

O = 旧分類

を意味します。

- ⑨「審判番号」欄

審判年、審判の種類、審判番号の順番に並んでいます。

- ⑩「審決日」欄

審決年、審決月、審決日の順番に並んでいます。

- ⑪「公報番号」欄

公報番号、公報頁の順番に並んでいます。なお、西暦2000年以降の審決公報については、データの形式での審決を参考にしていますので、公報頁がありません。（例えば、「2000-2」とあるのは、西暦2000年2月号を意味します。）ご了承ください。

⑫ 「理由」欄

審決の理由を要約しています。

⑬ 「商標 A (図形)」「商標 B (図形)」欄・・・ 個別閲覧画面参照

商標 A 又は商標 B が図形を含む場合、イメージデータとして入力しています。

### 3. ボタンの説明

「一覧閲覧」「個別閲覧」に表示されているボタンから説明していきます。

① 「一覧閲覧」「個別閲覧」画面上部

- ・ **1音** **2音** 等のボタン → 各項目に該当する審決を抽出します。
- ・ **終了** → 本データベースを終了するときには、必ずこちらを押してください。

② 緑色ボタン

- ・ **個別閲覧へ** → 「個別閲覧」画面へ移動します。・・・「一覧閲覧」画面
- ・ **一覧閲覧へ** → 「一覧閲覧」画面へ移動します。・・・「個別閲覧」画面
- ・ **全レコード表示** → データベース内の全レコードが表示されます。  
チェックが付いていたレコードはチェックが解除されます。
- ・ **印刷実行** → ブラウザからではなく、一旦、pdf に変換されます。
- ・ **データコピー** → コピーしたい部分を選択しボタンを押すと、お客様のパソコン上のクリップボードにコピーされます。
- ・ **このレコードを対象外に** → このボタンを押すと、カーソルが置かれているレコードが画面から除外されます。レコード自体は削除されません。(個別閲覧画面では、今表示されているレコードが除外されます。)
- ・ **本製品について** → 当社の連絡先等が記載されています。
- ・ **新規検索一覧モード** → 検索画面です。  
検索結果は「一覧閲覧」の形で表示されます。
- ・ **新規検索個別モード** → 検索画面です。  
検索結果は「個別閲覧」の形で表示されます。
- ・ **絞込検索** → 一旦検索した結果をさらに絞込みたいときに用います。  
このボタンを押すと検索画面へ移動します。
- ・ **チェック絞込** → チェックを付けたレコードのみ抽出します。
- ・ **全チェック解除** → チェックを解除し、データベース内の全レコードが表示されます。

- ・**図形検索** → 図形の入ったデータを検索するときに用います。  
(詳細な利用方法はp8「9. 図形検索の方法」をご覧ください)

### ③ 黄緑色ボタン

- ・**審決日昇順** → 審決日が古いものから順番にソートされます。
- ・**審決日降順** → 審決日が新しいものから順番にソートされます。
- ・**類昇順** → 国際分類第1類から順にソートされます。国際分類→日本分類→旧分類の順番になります。

「印刷レイアウトボタン」について説明します。レイアウトは書籍版「続 商標類否叢集」と同じ形になっています。

#### 【類否叢集1】

- ・**1音** → 「1音」向けに用いるレイアウトへ移動します。
- ・**2音・観念** → 「2音」「観念」向けに用いるレイアウトへ移動します。
- ・**図形外観** → 「図外」向けに用いるレイアウトへ移動します。

#### 【類否叢集2】

- ・**読み・A+B・商号** → 「読み」「A+B」「商号」向けに用いるレイアウトへ移動します。
- ・**普通～接尾** → 「普通」「品質」「品位」「産地」「色彩」「記号」「接頭」「接尾」向けに用いるレイアウトへ移動します。
- ・**暖簾・図称** → 「暖簾」「図称」向けに用いるレイアウトへ移動します。

「一覧検索」「個別検索」に表示されている **検索条件追加** ボタンは、「OR検索」を行うときに使用します。使い方については、p6をご覧ください。

## B. 検索方法

### 1. 対比する商標が非類似か否かを検索したい場合

#### a. 「非類似」を検索する場合

「※」欄に「※」と入力し（プルダウンで入力できます）、**検索実行** ボタンをクリックすると非類似のデータが選択されます。

#### b. 「類似」を検索する場合

「※」欄に「=」（イコール）と入力し（プルダウンで入力できます）、**検索実行** ボタンをクリックすると類似のデータが選択されます。

## 2. 「項目」で検索したい場合

方法1：「一覧閲覧」「個別閲覧」画面の上部にあるボタンをクリックすると、項目別のデータが表示されます。

方法2：検索画面では、「項目」欄にカーソルを持っていくと、各項目が選べるようになっているので、調べたい項目を選んで **検索実行** ボタンをクリックしてください。

## 3. 「1音」相違を検索したい場合 → 【類否1】

「音A」「音B」欄を使用します。

相違音が「ア」と「カ」の場合、「音A」欄に「ア」、「音B」欄に「カ」を入力し（全角でも半角でもOK）、**検索実行** ボタンをクリックすると、相違音が「ア」「カ」及び「カ」「ア」のデータが選択されます。

また、相違音が「ア」のみの場合は（例えば「アマス」と「マス」のようなケース）、「音A」欄に「ア」、「音B」欄に「=」を入力し、「検索実行」ボタンをクリックして下さい。

- 「音A」「音B」のデータは片仮名を用いていますので、検索時も片仮名で入力して下さい。
- 「長音」は「ー」を用いてください。なお、促音「ッ」についての1音相違を検索する場合は、「項目」「細目」欄で「1音」「促音」を選択してください。（タ行の「ッ」が抽出されるおそれがあります。） 「項目」と「音A」「音B」フィールドの双方に検索条件を入力することも可能です。
- 半濁音、濁音まで含めて検索する場合は音の前に「~」を挿入してください。（検索画面上部にある「+ / =記号」欄をクリックすると出てきます。詳しくは p9 をご覧ください。）

## 4. 「対象部分」で検索したい場合 → 【類否2】

事例1：「スーパー」を含んだ商標を選ぶ

「対象部分」のフィールドにカーソルを持っていき、「スーパー」（全角でも半角でもOK。）を入力後、**検索実行** ボタンをクリックすると、「スーパー」を含む商標が抽出されます。

但し、この場合「SUPER」「すーぱー」といった片仮名以外の文字で表されているものは選択されません。

これらの文字も選択したい場合は、

① 「スーパー」を入力後、**検索条件追加** ボタンをクリックすると、2段目が表示されます。2段目の「対象部分」欄に「SUPER」と入力します。

（大文字小文字を問わないので「SUPER」と入力すれば「Super」「super」も抽出されます。）

- ② さらに、**検索条件追加** ボタンをクリックし、「対象部分」欄に「すーぱー」と入力します。  
(長音は長音でのみ入力されていますので、「すうぱあ」という語を含んだ商標を検索するのであれば「すうぱあ」という条件も必要となります。)
- ③ ここで **検索実行** ボタンをクリックし、検索結果を表示させます。

⇨ この検索方法を「**OR検索**」といいます。

事例2：「ハイ」及び「エース」を両方含んだ商標を選ぶ

「対象部分」欄にカーソルを持っていき、「ハイ」(全角でも半角でもOK。)を入力後、スペースを1つ空けて「エース」と入力(「ハイ エース」という形になります)。ここで **検索実行** ボタンをクリックすると、「ハイ」及び「エース」を含む商標が表示されます。

⇨ この検索方法を「**AND検索**」といいます。スペースを1つ開けることで、絞り込みはいくつでも可能です。

(「OR検索」の欄で説明したように、「HI」「Hi」「ACE」「Ace」「はい」「えーす」を含む商標を含める場合は、**検索条件追加** ボタンを利用してください。

#### ⌘ 検索する場合のポイント ⌘

欄内に「スーパー」や「ハイ」と入力した場合は、基本的には「前方一致」検索の扱いとなります。「〇〇スーパー」や「〇〇エース〇〇」を検索したい場合は、前後に「\* (アスタリスク)」を付して、中間文字が検索できるように入力してください。

#### 5. 「商標A」「商標B」の欄から検索したい場合

「商標A」「商標B」欄にカーソルを持っていくと、文字が入力できるようになるので、調べたい商標を入力し、**検索実行** ボタンをクリックすると、該当データが選択されます。なお、「商標A」「商標B」にそれぞれ必要なデータを入力すれば、「商標A」「商標B」欄を自動的に入れ替えて検索します。( **検索条件追加** ボタンを用いて「商標B」「商標A」をさらに入力する必要はありません)

#### 6. 「類」で検索したい場合

「類」フィールドにカーソルを持っていくと、各類が選べるようになっているので、調べたい類を選び **検索実行** ボタンをクリックすると、類別のデータが選択されます。

#### 7. 「審判番号」又は「公報番号」で検索したい場合

「審判番号」又は「公報番号」欄にカーソルを持っていくと、数字が入力できるようになっているので、調べたい審判番号又は公報番号を入力し **検索実行** ボタンをクリックすると、該当データが選択されます。

## 8. 応用編：国際分類第9類で「ホワイト」が付く商標を選ぶ（事例3）

### → **【類否2】**

- ① まず、「類」欄に「K09」と入力します。
- ② 同じ画面で「対象部分」欄にカーソルを持っていき、「ホワイト」と入力します。
- ③ ここで **検索条件追加** ボタンをクリックし、「類」欄に「K09」、「対象部分」欄に「WHITE」と入力します。
- ④ 「ほわいと」が付く商標も含めたい場合は、さらに、**検索条件追加** ボタンをクリックし、「類」欄に「K09」、「対象部分」欄に「ほわいと」と入力します。
- ⑤ **検索実行** ボタンをクリックし、検索結果を表示させます。

## 9. 図形検索の方法

### **【類否1】**

- ① **図形検索** ボタンをクリックします。
- ② 図形検索条件をクリックします。（複数チェック可）  
条件としては
  - ・「幾何」 .....商標中に幾何図形が表されている商標
  - ・「植物」 .....商標中に植物図形が表されている商標
  - ・「動物」 .....商標中に動物図形が表されている商標
  - ・「器物」 .....商標中に器物図形が表されている商標
  - ・「人物」 .....商標中に人物図形が表されている商標
  - ・「天体」 .....商標中に天体図形が表されている商標
  - ・「文字」 .....文字商標があります。 間違った場合は **条件クリア** ボタンを押すと、チェックが解除されます。
- ③ 検索条件を「AND」にするのか「OR」にするのかクリックして **検索実行** ボタンを押します。
- ④ 結果は印刷レイアウト中の「図形外観」の形で出てきます。
- ⑤ さらに絞込検索をしたい場合は
  - i) 「図形外観」レイアウト上部の **絞込検索** ボタンを押します。
  - ii) 「一覧検索」画面に移動しますので、「細目」欄に条件を追加する、類似するものに限定する等の絞り込みを行ってください。

## 【類否2】

- ② **図形検索** ボタンをクリックします。
- ② 図形検索条件をクリックします。(複数チェック可)
- 条件としては
- ・「文字」 .....文字商標の称呼・観念
  - ・「図文」 .....図形と文字が重なった商標の称呼・観念
  - ・「図形」 .....図形商標の称呼・観念
  - ・「多段」 .....文字が複数段で表されている商標の称呼・観念
  - ・「図案」 .....文字が図案化されている商標の称呼・観念
  - ・「要部」 .....商標の要部が問題となったケース
  - ・「一体」 .....図形・文字が一体不可分と判断されたケース
  - ・「分断」 .....文字が分断されて判断されたケース
  - ・「暖簾」 .....暖簾記号が図案化されている商標
- があります。間違った場合は **条件クリア** ボタンを押すと、チェックが解除されます。
- ③ 検索条件を「AND」にするのか「OR」にするのかクリックして **検索実行** ボタンを押します。
- ③ 結果は印刷レイアウト中の「暖簾・図称」の形で出てきます。
- ⑤ さらに絞込検索をしたい場合は
- i) 「図形外観」レイアウト上部の**絞込検索**ボタンを押します。
  - ii) 「一覧検索」画面に移動しますので、「細目」欄に条件を追加する、類似するものに限定する等の絞り込みを行ってください。

## 10. その他

- ① 検索画面上部にある「+ / = ▼」欄をクリックすると、検索に利用できるさまざまな記号が出てきます。例えば「@」は任意の1文字として利用できます。
- ② 検索画面上部にある「実行」ボタンは使用しないでください。異なるデータ結果が出る場合があります。
- ③ 検索をした結果「該当データなし」と表示された後、「閲覧モード」に戻ってもデータが全く出てこない場合があります。その場合は「全レコード表示」ボタンを押してください。データが復帰します。

続 商標類否叢集 クラウド版マニュアル(240716) Copyright © 1999,2024 株)パテントジャパン

株)パテントジャパン  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-20  
第3 虎の門電気ビルディング 8階  
TEL:03-6206-6426 FAX:03-5860-9407  
URL:<http://www.patentjapan.jp> MAIL:[ask@patentjapan.jp](mailto:ask@patentjapan.jp)

